

平成25年度 事業報告

1 概況

平成26年4月1日、改正消費税が施行され、税と社会保障の一体改革がまた一歩前に歩んでまいりました。

この一年、アベノミクスの成果が我が国全体の景気浮揚感として広がりつつも、地域の端々にまだ及んでいない中で、消費税の与える経済的負のインパクトを如何に抑えるか、また、税の役割や税の持つ負の面と、持続的成長を果たしつつ社会経費をどのように負担すべきかといった、基本的な課題を一人ひとりが真剣に議論した年では無かったでしょうか。

私ども法人会は、「税のオピニオンリーダー」として、改正消費税の理解を深める研修会や経営における消費税増税への対応策など、改正消費税のスムーズな定着を目指した講演会・研修会・セミナーなどを開催してまいりました。

こうした法人会事業の第一の柱である「正しい税知識の普及」「納税意識の高揚」を図る「税の啓蒙活動」とともに、第2の柱である「良き経営者の団体として、企業経営及び地域社会の健全な発展に貢献」を図るべく、「地域とともに活動する法人会」としての地域貢献活動をも行ってきました。

「税」という普遍の課題に向けて、一步一步確実な歩みを行ってまいりました。

2 主な実施事業の概要について

(1) 公益目的に資するための活動

従来から取り組んできた、「税の正しい理解」「納税意識の高揚」を図る「税の啓蒙活動」とともに、企業経営及び社会の健全な発展を目指すとした2大主要テーマを「公益目的事業」として取り組んでいます。

イ 「税を巡る諸環境の整備改善等を図る（税の啓発活動）」事業

(イ) 研修相談事業

・税務研修

正しい税知識の習得、税務会計処理など全法連作成の各種教材を活用して、より「身近な問題」や「実のある」研修会を目指し、講師に税務署担当官や税理士にお願いし実施しました。

特に、消費税転嫁対策セミナーや年末調整の研修会は、地元商工会、商工会議所との共同開催を実現し、とともに、「正しい税務処理」の研修に努めてきました。

税務研修会 述べ20回

・税の無料相談事業

税への関心が最も高まる確定申告の時期に、税理士会との共催による「税の無料相談会」を開催し、米子法人会の各種活動内容を紹介する「パネル展」も行いました。

税務相談会 米子地区 米子高島屋
境港地区 プラント5境港店

(ロ) 租税教育事業

・ 租税教室

少年少女期の租税教室の重要性が叫ばれ、「鳥取県西部地区租税教育推進協議会」に参加して、青年部会を中心に東部支部、日野支部、境港支部の役員が講師となって、鳥取県西部地域の小学校で「出前授業」方式による租税教室を実施してきました。

小さい時から、税の大切さを実感してもらえるよう、官民が協力して租税教育の更なる充実を目指す必要性があります。

租税教室開催 19小学校

・ 税に関する「絵はがきコンクール」及び作品展示会の開催

鳥取県西部地区の全47小学校に呼びかけ、「税について習ったことや感じていること」を絵はがきに表現してもらおうと、一昨年から「絵はがきコンクール」を実施。2月18日から3月2日の約2週間、「米子しんまち天満屋」で応募作品の展示会を開催いたしました。同2月27日（金）には、ご家族をはじめ多くの方々のご参加いただき、盛大な優秀作品表彰式を開催することができました。

本年は特に、募集に多大なご尽力をいただいた4小学校に感謝状を、また本事業のPRにと「平成26年度 カレンダー」を作成配布しました。

租税教室開催小学校 19校

絵はがき作品応募状況 30小学校（前年28校）

807点（前年686点）

・「税を考える週間」協賛 「親子で税金バスツアー・税関ってどんなところ？」

例年実施されている国税庁主催の「税を考える週間」に協賛し、外国との窓口である米子鬼太郎空港の「税関のしごと」を知ろうと小学生親子による「税金バスツアー」を実施しました。（参加人数 名）

米子税務署、神戸税関境税関支署のご協力により、「楽しい税の勉強会」となりました。

(ハ) 税制提言、e-Taxの利用促進事業、

「税と社会保障の一体改革」が叫ばれている現在、中小企業の事業活性化、法人税率の引き下げなどを求めた「平成26年度 税制改正の提言書」を、地元国会議員をはじめ、米子市及び境港市の市長及び市議会議長に手交し、その実現への取組みを要請してきました。

また、ICT社会の浸透の中で国税庁が取り組んでいる「電子申告納税システム」の普及には、法人会も挙げて会員への浸透を推し進めており、目標を掲げて普及浸透を図ってきました。

個人納税者のe-Taxの利用促進に向けて、会員企業へのお知らせを配布するなど、一層の普及促進に努めました。

(ニ) 広報事業

新しい税情報の提供のほか、従来に増して「地域情報誌」としての地域情

報を積極的に取り上げ、「楽しく、読みやすい」会報誌を目指し、年2回の会報誌を発行するとともに、ホームページに各種事業の情報を掲載してきました。

公益社団法人としての「地域情報誌」として、社会貢献活動の紹介を通じて「企業の社会的責任への取組み」を訴え、より多くの企業に「法人会への参加」を求めて活動してきました。

会報誌 みずどり 72、73号 発行

ロ 地域社会の健全な発展及び社会貢献を目的（地域貢献活動）」とする事業

(イ) 経営支援事業

地域企業の健全な発展こそが「活力ある社会」の創生に向け、教養や経営の講演会や助成金セミナーなど、幅広い視点に立った研修会などを開催しました。

- ・ 講演会 2回
- ・ 経営セミナー 3回
- ・ 簿記講習会 2コース
- ・ 助成金活用個別相談 2回

(ロ) 社会貢献事業

地域社会との「共生」を目指し、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に会員の知恵と労力を出し合って取り組んできました。

① 古布・古タオルの回収及び老健施設への寄贈

年2回、会員企業をはじめ多くの方々の協力を得て、古布・古タオル類が各回とも2トントラックに満載となる量が回収でき、のべ6か所の施設に寄贈してきました。

② 米子市湊山公園整備事業協賛

地球温暖化防止とともに地域環境整備への支援として、引き続き「さくらの木」寄贈、植樹を行いました。

③ 東日本復興支援イベントの開催（チャリティーゴルフコンペ）

東日本大震災からなお復興の実感がないといわれる現状が続いています。そうした中、復興支援は今後とも息の長い支援活動が重要と考え、第3回「がんばろう日本！チャリティーゴルフコンペ」を開催し、86名の方々のご参加をいただき、集まった募金156000円を「岩手県」に義援金として寄贈しました。

④ 地域イベントへの協賛、参加

- ・「ミニたたら製鉄操業体験・学習会」

エコツーリズム国際大会 in 鳥取として鳥取県地域事業「地域のほこり『たたら』磨き上げ事業」応援ツアーに参加し、地域の歴史・文化を体感しました。

- ・「露の新治 人権寄席」

日野支部主管の江府町町制度60周年を記念して、「元気な街づ

くり」事業に取り組み、日野郡地域の方々に呼びかけて開催し、多くの方々が参加されました。

⑤ 米子法人会社団化30周年記念事業

社団化30周年を機に、地域の各分野で活動されている小規模な団体の活動を協賛・支援し、地域社会の発展に寄与しようと、地域の方などから推薦を受け、当該団体の活動状況や財政事情等を検討の結果、次の5団体を表彰するとともに、活動への支援を行いました。

- ・地域街づくり活動 特定非営利活動法人夢蔵プロジェクト
- ・自然環境保護活動 大山横手道上ブナを育成する会
- ・社会参加支援活動 要約筆記の会「虹」
- ・DV被害者支援活動 一般社団法人 みもぎの会
- ・青少年育成指導活動 チーム エフォーツ

⑥ 「鳥取県がん検診受診率向上プロジェクト」協賛

「働き世代をがんから守る」ため県が推進するプロジェクトに協賛・後援し、がん検診啓発イベント（25.8.31 イオンモール日吉津）参加、「鳥取県がん検診パートナー企業」認定申請活動を実施しました。

⑦ いちごプロジェクト（節電キャンペーン）

女性部会の全国統一事業として、「家庭からの節電」を呼び掛ける活動を行いました。

⑧ 市民講演会

- 「紙芝居による地域おこし」
- 「ステキにフラとの出会い」

(2) 会員の福利厚生や会員相互交流等に資するための活動

(イ) 福利厚生事業

会員の福利厚生に資する事業とともに、法人会財政基盤の確立に重要な事業でもある「経営者大型保障制度」推進とともに、提携保険会社（大同生命保険、AIU 損害保険、アフラック）の紹介や講演会の共同開催を行って、一層の制度普及推進に取り組みました。

(ロ) 会員支援、交流事業

「多種多様な企業の団体」という法人会の特色を活かした会員交流会を通じ、会員相互の新たな「交流の輪」を拓けることができました。

(ハ) 会員増強及び組織充実に資するための活動

「企業の持続的発展には社会に貢献する」との認識で、各種の活動をおこなっておられます。この個々の活動を法人会とともに行っていただこうと、会員増強活動を行ってまいりましたが、会員拡大とはなりませんでした。

公益社団法人としての活動を継続するためには、「会員数の確保」が喫緊の課題なっています。

(3) 支部及び部会活動

イ 支部活動

法人会組織の活性化には、「地元に着した法人会」支部の活動が何より重要であり、「活動の原点は支部に」をテーマに各支部交流会や役員会を通じた支部会員の交流に視点を置いた「交流会」などを開催し、組織の充実を図ってきました。

ロ 青年部会・女性部会

会員同士の切磋琢磨と自己研鑽を通じ「時代を担う経営者を目指す」「女性の視点で地域社会に貢献活動を」と、各種の事業に取り組んできました。

特に、小学生の租税教室、絵はがきコンクール、をはじめ古布・古タオルの回収・寄贈活動など、法人会活動の主要テーマである税の啓蒙普及活動や社会貢献活動の中心的活動主体としての役割を果たしてきました。

(4) 適正・的確な組織運営及び事務局運営

理事会を中心に適時的確な委員会等の組織運営とともに、事務局の効率的運営に努めてきました。